

三田農林株式会社は約100年間、造林による治山治水と木材供給に努めて森林経営を行っています。本プロジェクトは岩手県盛岡市にある自社所有林の間伐を行い、CO2吸収量を高めます。

プロジェクトの実施場所	岩手県盛岡市
吸収量(予測)	年間 163 t-CO2
在庫量	407 t-CO2(2012年7月時点)
クレジットの次回発行予定	2013年4月以降
1t-CO2あたりの希望単価	個別にご相談させていただきたくお願い致します。

三田農林株式会社(本社岩手県盛岡市)は森林経営、農場、牧場、不動産賃貸業を営んでいます。明治34年創業で農林業と街づくりを行ってきました。近年は盛岡市中心部に約30店が出店する商業施設を開設し物品販売の他、毎週生演奏などのイベントを行い、にぎわいの場所としてご利用いただいています。

弊社は岩手県と北海道に森林を約1,900ha所有しています。森林経営の始まりは明治43年に豪雨で盛岡市の中津川が氾濫し、市内が大惨事になったことによります。創業者は水源地の治山治水を図ることが重要であるとし、川の流域に沿って荒廃地を買求めて造林を開始しました。

本プロジェクトは岩手県盛岡市にある森林17.68haの間伐を行い、成長を促すことでCO2吸収量を高め、温暖化防止に努めます。このJ-VERでカーボンオフセットに取り組む方に協力できれば幸いです。

三田農林は農林業と街づくりで地域をつなぎます。



森林経営



農場



牧場



アイスクリーム製造

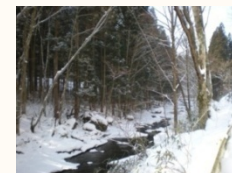


商業施設運営



イベント開催

三田農林の森林経営

明治43年
盛岡市洪水川の流域
に造林間伐で
CO2吸収増